

ほうれんそう登録農薬適用表

登録内容は2021年10月1日現在

用途	毒劇	RAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用対象病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌 消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回	<床土・堆肥>1穴当り3~5mL <圃場>1穴当り2~3mL	—	立枯病、萎凋病、苗立枯病、根腐病 株腐病、ケ、ハリカネムシ類、センチュウ類 ネキリムシ類、ホウレンソウケナガコナダニ、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	
	劇	FRAC M3 IRAC 8	ガスタード微粒剤	播種10日前まで (地温20℃以上)	1回	20~30kg	—	立枯病、萎凋病、株腐病、根腐病 ホウレンソウケナガコナダニ、一年生雑草	—	—	微粒剤	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する	ダゾメット	

用途	毒劇	FRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		7	バシタック水和剤75	は種前	1回	200倍 (1時間種子浸漬)	—	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	○	○	水和剤	種子浸漬	メプロニル		
						1,000倍 (24時間種子浸漬)	—					種子浸漬			
						種子重量の0.4%(種子粉衣)	—					種子粉衣			
				は種時~子葉展開時		750~1,500倍 (32/㎡)	—					土壌灌注			
		32	タチガレン液剤	は種前	1回	50~100倍 (300mL/㎡)	—	立枯病	○	△	液剤	全面散布後 土壌混和	ヒドロキシシキソゾールカリウム		
				は種時		500~1000倍 (3L/㎡)	—					土壌灌注			
				は種時		1500~3000倍 (9L/㎡)	—					土壌灌注			
	M1			ヨネポン水和剤	収穫14日前まで	4回以内	500倍 (100~300g)	200g	べと病	○	×	水和剤	散布	ノニフェールスルホン酸銅	
	M1			コサイド3000	—	—	1,000倍 (100~300g)	100g	べと病、白斑病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅	
	21			ランマンフロアブル	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド	
P7			アリエッティ水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	べと病、白斑病	○	○	水和剤	散布	ホセチル		
U17			ビシロックフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	べと病	○	×	フロアブル	散布	ピカルブトラゾクス		
40			フェスティバル水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ		

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1	ダイアジノン粒剤5	は種前	1回	6kg	—	ヒメクロスリカ	—	—	粒剤	土壌混和	ダイアジノン		
				は種時				タネバエ				作業土壌混和 又は土壌表面散布			
		1		スミチオン乳剤	収穫21日前まで	2回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	アブラムシ類、ホウレンソウケナガコナダニ	速	短	乳剤	散布	MEP	
		1		マラソン乳剤	収穫14日前まで	4回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	アブラムシ類	速	短	乳剤	散布	マラソン	
	劇	1		ランネット45DF	収穫14日前まで	4回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	ヨトウムシ、シメキイロザミマ	速	短	顆粒水和剤	散布	メソミル	
							1,000倍 (100~300g)	100g	アブラムシ類						
		21		ダニトロンフロアブル	収穫21日前まで	1回	2,000倍 (150~300g)	50ml	ハダニ類	中	長	フロアブル	散布	フェンピロキシメート	
	劇	4		モスピラン顆粒水溶剤	収穫14日前まで	2回以内	8,000倍 (100~300g)	13g	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
	劇	4		アドマイヤーフロアブル	収穫前日まで	2回以内	4,000倍 (100~300g)	25ml	アブラムシ類、アザミウマ類、ウリハムシモドキ	中	長	フロアブル	散布	イミダクロプリド	
	劇	14		パダシG水溶剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	ミナミキイロアザミウマ、アシハラモグリバエ、シロオビノメイガ	遅	中	水溶剤	散布	カルタップ	
		6		アフーム乳剤	収穫3日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、ホウレンソウケナガコナダニ	速	短	乳剤	散布	エマメクシン安息香酸塩	
		6		アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	ハスモンヨトウ	速	中	乳剤	散布	レビメクシン	
		28		ブレバソフロアブル5	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、シロオビノメイガ	速	長	フロアブル	散布	クロラントラニリブロール	
	29		ウララDF	収穫前日まで	2回以内	4,000倍 (100~300g)	25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理 除草剤		ラッソー乳剤	播種直後	1回	150ml (100g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	アラクロール	
		アーザラン液剤	播種後~子葉展開期	1回	夏播き:800~1000ml (100~200g)、 秋播き:600~800ml (100~200g)、 但し、芽出し播きは800ml (100~200g)	一年生雑草	液剤	全面土壌散布	アシユラム	
		クロロIPC	播種直後	1回	100~200ml (70~100g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	IPC	
茎葉除草剤 (選択性)		ナブ乳剤	雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) (但し収穫7日前まで)	1回	150~200ml (100~150g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	